

關稅定率法輸入稅表中改正法律案特別委員會議事速記錄第一號

委員氏名

委員長 子爵鍋島 直彬君 副委員長 子爵三島彌太郎君

委員

子爵水野 直君 男爵松平 正直君 男爵前島 密君
前田 正名君 男爵田 健治郎君 男爵紀 俊秀君
桑田 熊藏君

明治四十一年三月十八日(水曜日)午前十時二十三分開會

○委員長(子爵鍋島直彬君) 是ヨリ開會イタシマス、此案ニ付イテハ本會議ノ一讀會ノ初メニ大略ノ御説明モゴザイマシタガ、大分此案ハ我々ノ素人ニハ餘ホド分リニクイ入ルタ案ノヤウニ存シマスカラ、ドウゾ初メニ政府委員ヨリ詳細ナル御説明ヲ願ヒタウゴザイマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 關稅定率法輸入稅改正法律案ニ付キマシテ説明ヲ申述ベマス、此案ノ提出ノ理由ハ簡單ニ茲ニ理由書ニ記載シテアリマス、尙又第一讀會ノ際ニ於キマシテ幾分説明ヲ申上ゲテアリマスルガ、モウ少シ進ミマシテ委シク改正ヲ要シマスル理由ヲ申上ゲヤウト存シマス、現行ノ關稅定率法輸入稅表ハ三十九年ノ十月ヨリ實施ニナリマシタノデアリマス、即チ前議會……前々議會ノ協賛ヲ經テ三十九年ノ十月ヨリ實施ニナリテ居リマス、其時此礦油ノ稅率ハ稅率表ノ百七十二號ニ規定サレテ居リマシテ、「礦油」ト致シマシテツレニ括弧ヲ致シテ「原油ヲ除ク」ト、斯ウ致シマシテ原油ヲ除イタモノノ礦油ヲ一、二、三ト三分ケマシテ、ツレノ稅率ガ決メテアリマス、ツレ故ニ現行ノ稅率法ニ依リマスルト、原油ト云フ、礦油ノ原油デスナ、原油ト云フモノハ、百七十二號ニ這入リマセヌ、百七十六號ノ「其ノ他ノ油」ト云フ方ニ這入リマシテ、從價二割、斯ウ云フコトニ規定サレテ居リマス、當時輸入稅表中全體ヲ改正イタス際ニ礦油ニ付イテノ問題ヲ色々研究イタシマシタノデアリマス、併シ其時分ハマダ原油ト云フモノハ一向日本ニ輸入イタシマセヌ、ドチカラモ這入ルタモノハ無イ、ツレガ爲ニ原油ノ性質モ當時能ク政府ハ調査ガ出來テ居リマセヌ、併シ其頃此原油ト云フヤウナモノハ、ドウシテモ十分ナル研究ヲ致シマシテ他ノ油類ト權衡ヲ保ツヤウニ稅率ヲ決メナケレバナラヌト云フコトガ其當時アツタノデアリマス、併シ前申シマスルヤウニ、未ダ輸入モアリマセズ外國ノ原油ノ研究ガ十分ニ付イテ居リマセヌ故ニ、タゞ想像ヲ以テ稅率ヲ定ムルト云フコトハ甚ダ不相當ナコトデアリマスルカラ、將來ツレハ研究殘シテ置キマシテ、先ヅ從價稅ヲ適用スルコト致シマシテ、凡ソ二割ト云フコトニ定メテ、三十九年ニ實施イタシタ譯デアリマス、ツレカラ三十九年十月以降、大藏省ノ部内、又農商務省ノ部内ニ於キマシテモ、共々此原油ノコトハ研究ヲ致シマシテ居リマス中ニ、段々ト世間ノ問題ニ是ガ上ホッテ參ッタノデアリマス、外部カラ色々此原油ノ輸入稅ニ付イテ大藏省ニ問合セテ致シテ參ッタノデアリマス、其問合セテ致シマスル要點ハ原油ト云フモノハ今ノ稅

率ヲ將來動カサヌ、將來數年間現行ノ通りニ據置イテ動カサヌデアラウカ、斯ウ云フコトヲ種々ノ方面カラ問ヒニ參リマス、ツレニ付キマシテハ、政府ハ先刻申上ゲマスル通り、原油ノ研究ガ當時マダ付イテ居リマセヌ、從價二割ヲ課スルト云フコトニ致シテ居リマスガ、是ハ早晚十分ニ研究イタシテ二割ヲ宜シケレバ一割ニスル、二割ヲ然ルベカラズトスレバ相當ニ變更シナケレバナラヌト云フ考ヲ持ッテ居リマシタ、故ニ外部ノ問合セニ對シテハ遺憾ナガラ判然タル答ヲスルコトガ出來ナカッタノデアリマス、併シドウナルカ分ラヌト云フヤウナ答ハ出來マセヌカラ、兎ニ角今日ニ於テハ從價二割デアル、將來ノコトハイツマデ此稅率ヲ動カサヌト云フヤウナ保證ハ出來ヌ、約束ハ出來ヌ、斯ウ云フ答ヲドノ方面ニ向ッテモ致シテ居リタノデアリマス、併シ左様ナ答ヲ大藏省デ致シマシテ、イツマデモサウ云フヤウナ餘リ判明イタシマセヌ答ヲ致スト云フコトハ甚ダ宜シクナイコト自分等ハ遺憾ニ存シマシタ故ニ、ツレヨリ一層力ヲ入レマシテ此原油ノ研究ヲ致シマシタ、既ニ昨年ノ議會ノ頃ニ於テ、段々ト此原油ノ輸入稅ノ問題ヲ世間ノ熱心ニ論究スルヤウニナリマシテ、一方內國ノ石油業者ノ側カラ昨年ノ議會ノ當時ニ於テ是非二割デハ權衡ヲ得ナイ、是ハ相當ノ修正ヲシテ高クシテ價ハナケレバナラヌト云フヤウナ意見ガ大藏省ノ側ニ現ハレテ參リマシタ、併シ昨年ノ議會頃ハマダ十分ナル大藏省ノ意見ヲ定メルコトハ出來マセヌ故ニ、矢張り今研究中デアラウカラ、研究シタ上デナケレバドウ動カスト云フコトハ到底言ヘナイ斯ウ云フコトデ昨年ノ議會モ過ギテ、ツレカラ尙ホ一層此原油ノコトヲ研究イタシマスニハ、ドウシテモ外國ノ油ノ產地ヘ入ラ出スガ宜カラウ、斯ウ云フコトニ決シマシテ、大藏省ノ人ヲ一人稅關ノ者ヲ一人、二人ヲボルネオ方面ヘ出シマシタ、モウ一人、稅關ノ鑑定官ヲ亞米利加ヘ出シマシテ、亞米利加ノ油トボルネオノ油ト兩方研究サセマシタ、其出張員ガ歸ッテ來マスル間際頃ニナッテ、今度ハ亞米利加カラ原油ガ這入ルタ來ル、斯ウ云フコトニナッタノデアリマス、ツレデ段々ト此問題ノ解決ヲ早ク付ケネバナラヌト云フ時期ガ迫ッテ參リマシタ爲ニ、出張員モ昨年ノ暮カラ今年一月ニナッテ雙方ガ歸ッテ參リマシタ、デ向フノ原油モ研究シテ參リマシテ、見本モ取ッテ參リマスル、製油工場ノ模様モ研究シテ參リマシタ、ツコデ段々大藏省ニ於キマシテ、昨年輸入イタシマシタ所ノ亞米利加ノ原油ヲ調査シ、又內地ノ方ハ主トシテ新潟縣ノ石油デアリマスガ、新潟縣ノ石油ハ是ハ從前ヨリ農商務省ニ於テ十分ナル調査ガアリマス、大藏省モ亦共ニ調査イタシマシテ内外ノ油ノ研究ヲ致シマシテ、其研究ノ結果、原油ノ輸入稅ト云フモノヲ改正ヲシナケレバナラヌト云フコトニ歸著イタシタノデアリマス、ツレハ此關稅定率法ノ輸入稅表中、礦油ノ稅率ヲ改正スルコト云フコトハ、今日俄ニ思付イテ改正ヲ致スト云フ次第デナイ、從前ヨリ……兩三年前ヨリ研究ヲ致シタ結果、今日ニ至ッタト云フコトヲ御了解ヲ願フ爲ニ申上ゲルニ過ギマセヌデアリマス、ツコデ色々研究シタ結果、然ラバドウスルガ宜イカト云フコトニナリマシテ、茲ニ案ヲ具ヘタノデアリマスガ、其趣意ハ大體ヲ申上ゲマス、内地ノ石油業者ガ、今日相當ニ成立立シテ居ル、此業ハ一ト廉ノ產業ヲ成シテ居ルモノデアラウカラ、是ハドウシテモ將來相當ニ發達シテ行ケルヤウニシナケレバナラヌモノデア

ル、ソレカラ又段々研究ノ結果ニ依リマスト云フト、今日ノ稅率ノ儘ニ致シテ置キマスト云フト、石油ノ稅、即チ燈油ノ稅率ガ「十」ガ「九」ニナリ居リマス、是ハ從量稅デアリマスガ、從價ニ致シマスト五割トナデ居リマス、此五割モ一朝ニシテ五割ニナタノデアリマセヌデ、二十一年頃ハ從價五分デアッタノデアリマス、ソレガ三十二年ニナリマシテ一割ニ増シマシタ、ソレカラ三十二年ニ行キマシテ二割ニ増加イタシマシタ、ソレカラ戰爭ガ始マリマシタ爲ニ非常特別稅ノ増徴ガ三割ゴザイマシタ、ソレガ今日ニ續イテ從價ノ五割、從價ノ五割ヨリ換算シタ九十六錢ト斯ウナッテ居リマス、一方ノ石油ハ九十六錢トナッテ居ル、原油ハ從價ノ二割、斯ウ云フ關係、此關係ヲ研究イタシテ見マスト、此原油ナルモノヲ段々ト調べマシテ稅率ノ關係ヲ比較シテ見マスト云フト、詰リ原油ヲ輸入イタシマシテ、之ヲ原料ト致シテ燈油ヲ製造スルコトニ致シマスト、固ヨリ原油ノ性質ニ依ッテ燈油分ヲ含有シテ居ルコトノ多少モアリマスカラ、一概ニ之ヲ原油ノ中カラ燈油ガ幾ラ出ルモノダトハ申セマセヌケドモ、段々研究シタ結果ニ依リマスト、先ヅ原油ヲ日本ニ持ッテ參ラ、サウシテ之ヲ燈油製造ノ原料ト使ヒマスト「ランブ」油ノ餘計出ル原油ヲ持ッテ來ルノハ利益ノ話デアリマスデ「ランブ」油ノ割合ニ餘計取レル原油ヲ持ッテ來テ内地製造スルガ利益デアリマスカラ、先ヅ其利益ニナル程度ノ原油ヲ持ッテ來テ内地製造スルコト云フコトニスルト假定イタシマシテ計算ヲ致シテ見マスト、假ニ原油ノ一石ヲ取ッテ申上ゲマスト云フト、先ヅ原油ノ一石ノ中ガ二十七八ヨリ五十クラ井ニアル間ノ燈油ガ取レル、斯ウ云フコトガ研究ノ結果ニ分リマシタノデ、サウナリマスト先刻申上ゲマスト通ニ燈油トナッテ精製サレタモノノ稅金ハ「十」ガ「九」ニ付イデ九十六錢、之ヲ一石ノ稅ニ直シテ申上ゲマスト四圓八十錢ノ稅ガ這入ル、ソレカラ一石ノ原油ヲ外國カラ持ッテ參リマシテ、假ニ此半分ガ製造ヲシタナラバ燈油ニナル、斯ウ致シマスト云フト一石カラ五斗ノ燈油ガ取レル譯デ、一石ノ原油ノ稅ハ從價ノ二割ト云フモノハ幾ラニナルカト斯ウ申シマスト、原油一石ノ直段ハ是又品質ノ良イ惡イニ依リマシテ多少ノ差ハアリマスルケドモ、今日マデ輸入イタシマシタ所ノ亞米利加カラ這入リマシタ所ノ原油ヲ先ヅ取ッテ其直段ヲ見マスト、横濱著ノ一石ノ原油ノ直段ガ二圓五十九錢二厘、斯ウナリマス、其二割ガ五十一錢八厘、凡ソ原油ノ中カラ半分燈油ガ取レル、原油一石カラ五斗ノ燈油ガ取レルト云フ原油ヲ持ッテ參リマシテ二割ノ稅ヲ拂フト致シマスト云フト、稅金ガ五十一錢八厘即チ五斗ノ「ランブ」油ノ取レル原油一石ノ稅ガ五十一錢八厘デアリマスルカラ、詰リ二石ノ原油ヲ輸入イタシマスト一石ノ燈油ガ取レルノデゴザイマス、計算ヲ便利ニ致ス爲ニ申上ゲマスト云フト一石ノ稅金ガ五十一錢八厘デアリマス、二石ノ稅金ハ此倍額、即チ一圓三錢六厘ノ稅ヲ負擔スルコトニナリマス、燈油二石ノ中ニ含ンデ居ル一石ノ「ランブ」油ガ負擔シマスト稅金ハ一圓三錢六厘、言換ヘマスト云フト原油ノ中ニ含マレテ居ル「ランブ」油ヲ輸入イタシマストキニハ一石ノ稅金ハ一圓三錢六厘、出來上「タ」所ノ石油ヲ輸入イタシマストキニハ一石ハ四圓八十錢ノ稅ヲ負擔スル、此四圓八十錢ト一圓三錢六厘ト云フ差ハ非常ナ差デアリマスカラ、非常ナ開キデアリマスカラ、此儘拾テ、置キマスト、私ドモノ恐レマスルニハ、是マデ外國カラ燈油ノ輸入イタシマスルノハ概數ヲ申上ゲマスト云フト百四十五萬石デアリマス、此百四十五萬石ノ燈油ニ依ッテ政府ガ得テ居リマシタ所ノ海關稅ハ、大凡四十

年ニ於テ六百七十三萬五千圓餘デアリマス、六百七十三萬五千圓バカリ四十年ニ於テハ稅額ガ舉ッテ居リマスルガ、若シ此儘ニ致シテ置キマスト……

○男爵松平正直君 是ハ何時ノ……

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 四十年ノ燈油ノ輸入稅……サウ云フ風ニナッテ居リマス、サウ云フ稅金ガ今日舉ッテ居リマスルガ、唯今申上ゲマシタヤウニ燈油ヲ輸入イタシマスレバ一石四圓八十錢ノ稅ヲ拂ハナケレバナラス、原油ヲ輸入イタシマスレバ、同ジ「ランブ」油ノ一石ノ負擔ガ一圓三錢六厘ニナリマス、斯ウナリマシテハ、ドウシテモ將來燈油ノ輸入ト云フモノハ減ッテ參リマシテ、代ッテ這入ッテ參ルモノハ原油ガ這入ルノデアリマス、四圓八十錢ト一圓三錢六厘ト云フ比較ヲ計算ヲ簡便ニシマス爲ニ、内地ニ於テ製造シマス所ノ工費トカ云フヤウナモノハ、先ヅ唯今申上ゲマスト所ノ計算ニ入レマセヌデ大略ノ所ヲ申上ゲマシテ、尙ホ進ンデ委シイ所マデ説明ヲ申上ゲヤウト存ジマス、サウ云フ風デアリマス、燈油ガ這入ラズシテ原油ガズンノ「這入テ來ルコトニナルダラウ、サウ致シマスト原油ノ輸入稅ハ前申上ゲマスト通り一割デアリマス、假ニ四十年ニ日本ニ輸入イタシマシタ所ノ「ランブ」油ノ數量ガ七千六百五十六萬二千六百二十一「ガロン」……

○男爵松平正直君 石數ニ直スト……

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 百四十萬石餘ニナリマス、此四十年ノ輸入額ハデス、燈油ヲ這入リマセヌ、原油ガ皆這入ルト云フコトヲ一ツ想像シテ計算ヲシテ見マスト茲ニ計算ヲシテ申上ゲマストノハ、先刻ハ百分中ニ五十燈油ガ取レルト云フコトヲ計算ヲシテ申上ゲマシタガ、五十カラ三十七八ト申シマシタガ、政府ノ原案トシマシテハ四十五ト云フモノヲ押ヘマシタノデアリマスカラ、四十五トシテ計算ヲシテ置キマス、詰リ百分中四十五ノ燈油ガ取レルモノト計算ヲシマシテ、原油ヲ幾ラ輸入シテ内地製造シタナラバ、外國カラ燈油ヲ輸入イタシマシタ所ノ額ニ當ルカ、斯ウ云フコトヲ計算シテ見マスト、原油ヲ一億五千五百九十二萬三千六百三十三「ガロン」、是ダケヲ輸入シテ内地製造イタシマシテ、此百分中四十五ガ燈油トナルト致シマスト、前キニ申上ゲマシタ所ノ七千萬「ガロン」ノ「ランブ」油ガ出來ル譯ニナリマス、詰リ燈油ガ這入リマセヌデ全部原油ガ這入ッテ來タモノト假定シテノ計算デゴザイマス、サウ致シマスト此一億五千五百萬ノ石數ガ三百二十七萬四千三百九十九石六デゴザイマス、ソコデ此一石ノ價格ガ先刻申上ゲマシタ通り二圓五十九錢ト計算イタシマスト……唯今申上ゲマシタノハ參考書ヲ差上ゲテアリマスカラ、ソレヲ御覽ダサイマス御分リニナリマス、關稅收入ノ増減調ト云フ 蒔莖版刷ノ終ヒノ方ニ附イテ居リマス、……課稅價格ヲ一石二圓五十九錢ノ割デ計算イタシマスト云フト、八百四十八萬六千八百八十六圓トナリマス、其所ニ蒔莖版ニ記載シテゴザイマス、其二割、關稅ノ收入二割デゴザイマスカラ、二割ハ六百六十九萬六千三百三十七圓トナリマス、ソコデ六百六十九萬六千三百三十七圓ト、前キニ申上ゲマシタ燈油ヲ這入ッテ參リマストキニ、四十年ニ取リマシタ所ノ關稅、六百七十三萬五千九百圓ト比較イタシマスト、關稅收入ノ減ズルコト五百餘萬圓ト、斯ウ云フ計算ニナリマス、是ハ燈油ガ輸入イタシマセヌデ原油ガ這入ッテ總テ内地製造サレテ「ランブ」油ガ出來ルト云フコトヲ豫想シテ計算ヲ致シタノデゴザイマス、結局斯ウ云フコトニ歸著スルダラウ、關稅ノ收入五百萬圓ヲ減ズルト云フコトハ是ハドウモ此不權衡ヨリ生ズルモノト致シマ

スレバ、ドウシテモ之ヲ直サナケレバナラヌト云フコトガ此權衡ヲ直サウ、即チ原油ノ稅率
ヲ上ゲネバナラヌト云フコトニ考ヘマシタ次第デゴザイマス、ソレカラモウ一方、内地ノ石油
業トノ關係ニ付イテ考ヘマシタノハ、御承知ノ通り外國カラ這入リマス所ノ原油ノ價格
ハ二圓五十九錢二厘、先刻申上ゲマシタソレニ二割ノ稅ヲ拂フテ這入リマス云フト三
圓十一錢バカリニナリマス、一石ガ……所デ内地ニ於テ今日、新潟縣ノ石油業ガ段々發
達イタシテ參テ居リマス、デ内地ノ原油モ品質ノ宜シイモノ、惡ルイモノノ色、アリマスルカ
ラ、先ヅ亞米利加カリホルニアヨリ先キゴロ入レマシタ所ノ原油ニ相當スル越後ノ油ヲ見
マスルト云フト、東山ノ原油ト云フノガ先ヅ比較ニ立ツモノデアラウト思ヒマス、此東山ノ
原油ノ一石ノ三十九年ノ平均ノ相場ヲ申上ゲマスト一石四圓七十三錢五厘、斯ウ
云フコトニナッテ居リマス、ソコデ内地ノ石油業者ハ一石四圓七十三錢五厘ノ原油ヲ
使ツテ油ノ製造ヲヤツテ居リマス、所ガ先刻申上ゲマスヤウニ、外國カラ原油ヲ輸入イタ
シマシテ、ソレヲ原料トシテ内地デ製造業ヲヤラウト致ストキハ、一割ノ關稅ヲ拂ヒマシテ
一石三圓十一錢ノ原料ガ得ラレル、デ三圓十一錢ノ原油ヲ使フモノト四圓七十三錢五
厘ノ原油ヲ使ツテ製造スルモノトハ、是ハドウシテモ相並ンデ行ケナイモノニナルダラウ、高
イ原油ヲ使ツテ製造業ヲヤル、内地ノ石油業者ハ到底外國ノ三圓十一錢ト云フ廉イ
直段ノ原油ヲ使フモノトハ對抗ガ出來ナイコトニナル、雙方ノ間ニ權衡ヲ失フコトニナリ
マス、其結果ハドウナルカト申シマスレバ、今日マデ漸々發達シテ參リマシタ所ノ内地ノ
石油業ト云フモノハ大イニ打撃ヲ受ケルト云フ結果ヲ現ハス、然ラバ其點カラ見マシテモ
内外產ノ原油ヲ大抵似寄ツタル程度ニ並ベナケレバナルマイト、斯ウ云フ考ヲ起シマシタノ
デ、ソコデ然ラバ單ニ從價ニ割ト云フノヲ二割カ四割カ五割ニ上セセルノモ、ソレモ一ツノ
方法デアラウト存ジマスルガ、ソレデ段々研究イタシマシタ結果ニ依リマス、餘リ無難作
ナヤリ方デアリマシテ、サウ云フ方法ヲ採ルコトハ宜シクナイト云フ考ヘ付ケマシテ茲ニ
本案ニアリマスヤウナ一定ノ溫度ノ間ニ於キマシテ原油ヲ蒸餾イタシマシテ、サウシテ出マ
スル所ノ蒸餾液、即チ石油デアリマス、石油ガ百分ノ中ニドレホド含ンデ居ルト云フコト
ヲ見マシテ、サウシテ石油ノ輸入稅ハ「ガルロン」九十六錢ト云フ一方ニ定マツタ稅率
ガアリマスカラ、詰リ石油ノ稅率ニ比例ヲ取ツテ、百分中ニ多ク石油ヲ含ンデ居ル原油
ナラバ多ク稅ヲ取ル、少シ含有シテ居レバ其割合ニ稅ヲ減ラス、斯ウ云フ組織ニスル方ガ
精密デ宜カラウ、斯ウ云フコトデ詰リ此案ヲ立テ次第デゴザイマス、デ稅率表ニアリマ
ス劃溫蒸餾法トカ、百二十度ヨリ二百七十五度ニ至ルト云フヤウナコトハ專門ノ技術ニ
屬スルコトデアリマスカラ、私が申上ゲルヨリモ、大藏省農商務省ノ技師モ見エテ居リマ
スカラ、御差支ナケレバ其方カラ申上ゲタ方ガ宜カラウト存ジマス、要スルニ百二十度ヨ
リ二百七十五度ノ間ニ原液ヲ蒸餾イタシマシテ出マス所ノ油ハ即チ燈油ニ當ルモノデア
リマス、其燈油分ノ多少ニ依ツテ稅率ヲ加減スル方ガ宜シカラウ、斯ウ云フコトニ見マ
シタノデアリマス、詰リ此法律ヲ定ムニ、然ラバ内地產業ノ爲トアルナラバ、外國カラ最
早原油ハ入レヌヤウニ、原油ヲ入レテ製造シテモ儲ケニナラヌヤウニ高イ稅率ヲ定メルガ
宜イデハナイカト云フ、說モアルカモ知レマセヌガ、ソレハ段々研究イタシマスルニ、今日日
本デ消費イタシマス石油ノ分量ハ一年ニ凡ソ二百萬石ト申シテ居リマス、其中越後
デ……專ラ越後デアリマスガ、越後ニ於テ出來マス燈油ガ凡ソ六七十萬石ノ間デゴザイマ

ス、シマスルト百五十萬石ノ燈油ハ外國カラ仰ガヌケレバ内地ノ需要ヲ充タスニ足ラ
ヌデアリマスカラ、禁止的ニ致スト云フコトハ宜シクナイ、唯内外相併ンデ產業ノ行ハ
レル程度ニ定メルノガ相當デアラウ、斯ウ云フコト計算ヲ立テマシタノデアリマス、ソレニハ
原油ヲ蒸餾イタシマスルキニ其中ニ含ンデ居ル燈油分ヲ見テ、其燈油分ニ對シテハ燈油
ノ稅率、即チ「ガルロン」九十六錢ノ稅ヲ課ケル、尤モ原油ヲ輸入イタシマシテ製造イ
タシマスルキハ燈油バカリ取レルノデアリマセヌデ、御承知ノ通り各種ノ油ガ取レマス、
揮發油モ取レマス、重油モ取レマス、「ピツチ」等モ取レルノデアリマス、ガ併シ原油ノ輸入
稅ヲ今度改メマスニ付イテ燈油分ガ百分ノ四十五取レル、「ピツチ」ガ若干取レル、重油
ガ幾ラ取レル、「ピツチ」、重油、揮發油、何レモ輸入稅表ニハ、ソレノ稅率ノ規定ガ
アリマス、アリマスカラ皆ソレ等モ計算ヲシテ原油ノ輸入稅ヲ決メルト云フモノ一ノ方法
カ知レマセヌガ、今日石油ノ供給ト云フモノハ内地デハマダ十分デアリマセヌ、外國カラ
仰ガヌケレバナラヌ、外國カラ精製シタ燈油ヲ仰グト致シマスレバ、割合ニ高イ金ヲ拂ハ
ヌケレバナラヌ、ソレヨリハ内地デ原油ヲ輸入イタシマシテ、製造イタセバ内地ニ工業ノ起
ル利益ガアルダラウ、且ツ燈油ノ外ニ重油ト云フモノノ供給モ出來ルヤウニナル、重油ハ
御承知ノ通り主トシテ燃料ニ使フモノデアリマシテ、是ハ段々需要ガ殖エテ參リマス、サ
ウシテ工業ノ原料ニ供シマス燃料重油ノ如キハ成ルベク是ハ廉ク供給スル方法ヲ執ル
ガ宜シイ、サウ云フ考ヲ以チマシテ原油ノ中カラ重油モ幾ラカ取レマスケレドモ、ソレヲ一
一稅率ヲ計算イタシマシテ原油ノ輸入稅トシテ課ケルト云フコトハ然ルベカラザルコトデア
ラウ、斯ウ云フコトデ燈油以外ノ物ハ一切眼中ニ置キマセヌデ、即チ原油カラ出マス重
油揮發油等ハ稅ヲ見ナイ、斯ウ致セバ原料ノ供給モ大ニ便利ニナルデアラウ、斯ウ云フ
考デ稅率ヲ計算イタシマシタ、サウ云フヤウナ大體デアリマシテ、此原案ノ趣意ニ依リマ
シテ輸入イタシマス所ノ原油ハ「ガルロン」位ニナルカト申シマス云フト、先刻申上ゲマスヤ
ウニ原價ハ二圓五十九錢二厘、ソレニ此稅率ヲ課ケマス、十「ガルロン」ニ付イテ四十三
錢デアリマス、此五倍ガ二圓十五錢デ、一石ノ稅ニ當リマス、二圓五十九錢二厘ニ二
圓十五錢ヲ加ヘマスト四圓七十四錢二厘、斯ウ云フ計算ニナリマス、四圓七十四錢
二厘ハ先刻申上ゲマシタ、越後ノ東山ノ原油ノ一石ノ平均直段ニ稍：近イモノニナリ
マス、斯ウナリマスレバ内地ノ原油ヲ使ヒマスルモ外國カラ原油ヲ輸入イタシマシテ製造
イタス人モ略々同ジ原料ヲ用テ製造業ヲヤルト云フコトニナル、デ決シテ之ガ爲ニ外
國カラ原油ヲ輸入イタシテ製造スル人ガ成立タナクナルト云フ虞レハ少シモナイト信ジマ
ス、ナゼナレバ内地ノ石油製造業者ガ一石四圓七十三錢五厘ノ原油ヲ用テ燈油ヲ
製造シテ、ソレヲ相當事業ノ經營ガ出來テ參リマスカラ、外國カラ原油ヲ輸入イタシテ橫濱
デ四圓七十四錢二厘ノ原油ヲ使ツテ燈油製造業ヲヤツテ、ソレガ成立タヌト云フ理由ハ
無カラウト思フ、ソレガ成立タヌケレバ越後ノ石油業者モ成立タヌト云フコトニナルデア
ラウ、斯ウ先ヅ考ヘマス、要スルニ内外ノ物ヲ對等ノ位地ニマデ置クト云フコトガ必要デア
ラウ、斯ウ致シマスレバ原油ヲ外國カラ入レマシテ製造イタシテモ引合ヒマスル、ソレカラ
其事業モ行ハレテ參リマス、サウシテ燈油ノ直段ト云フモノハ原案ノ如ク稅率ヲ改正イ
タシマシテモ、十「ガルロン」九十六錢ト云フ稅率ガ動キマセヌ、決シテ燈油ノ直段ガ上ガ
ルト云フコトハナイト私ハ信ジテ居リマス、段々衆議院ノ委員會等ニ於キマシテモ原案ノ

ナルモノ、發展ト云フコトヲ是テ認メルト云フコトハ少シ出来兼ネルカト思ヒマスガ、此累年、是ダケノ原油カラシテ幾ラ燈油が出タト云フコトハ農商務省デハ御分リニナッテ居リサウナモノト思ヒマスカラ、ソレヲ承リタイ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 唯今、田君ノ御尋ネハ此所ニ調査シタモノガアリマスカラ私カラ申上ゲマス、先刻御覽ノハ原油デアリマス、ソレデ新瀉縣ノ産ハ燈油、私ノ手許ニアリマスノハ二十一年カラノデアリマシテ、原油產出表ノヤウナ舊イ時カラノハ持チマセヌ、近來ノヲ申上ゲマス、極近イ所ヲ申シマス、二十九年ニハ五十四万九千七百八十五石、三十八年ニハ五十六万二千三百三十八石、三十七年ニハ五十四万九千七百八十五石、三十六年ガ四十九万七千七百二十六石、三十五年ニハ四十九万八千二百二十一石、三十四年ニハ三十四万三千二百二十六石、三十二年ガ二十九万九千七百石、三十二年ガ二十万八千四百石、三十一年ガ十五万二千四百石、三十一年マデノヲ手ニ持ッテ居リマス、ソレデテチヨット申上ゲマスガ、三十九年ノ六十四万九千七百八十五石、三十八年ニハ於ケル原油ト燈油ノ割合ヨリ算出シタト云フコトニナッテ居リマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○男爵田健治郎君 實產額デハアリマセヌ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 實產額デハアリマセヌ、三十八年ノ割合算出シタモノト斯ウ御承知ヲ願ヒマス、尙ホ御尋ネガゴザイマシタカラ續イテ申上ゲテ置キマス、先刻桑田君カラ内地ノ石油業ノ將來ノ發展ハドウナルカト云フ御尋ネガアリマシテ農商務省ノ技師ヨリ御答ヘガアッテ濟シテ居リマスガ、唯今申上ゲマシタヤウニ新瀉縣ノ燈油ノ產出額ハ先ヅ順調ヲ以テ進シテ居ルト云フコトハ御覽ノ通りデアリマス、原油モ亦之ニ連レテ延ビテ居ルト云フコトモ分リマス、今日日本デノ石油ノ產地トシテハ主タルモノハ新潟縣デアリマスガ、マデ試掘研究ノ時代ニ屬シテ居ル地方ガ多クアルト云フコトモ先刻申上ゲマシタ通りデアリマス、又新潟縣ノ地方デモ是マデハ掘リ方ガ淺カッタデアリマス、ズット以前ニナリマス井戸ヲ掘リマスヤウニ鐵ヲ以テテ掘ッテ居ッタデアリマス、今日デハ色々改良シマシテ亞米利加風ノ掘リ方ヲヤッテ經費ヲ省イテ深ク掘リ込ムト云フコトガ出来テ參ッタト云フコトハ非常ニ進歩ノヤウニ考ヘテ居リマス、臺灣ノコトニ付キマシテハ是ハ私ハ見タノデハゴザイマセヌガ、臺灣ノ當局者カラ説明ヲ聽キマシタデアリマス、臺灣デモ唯今油ニ付イテノ調査ヲシテ居リマス、デナカノ油ガ出ル、必ズ此所ハ出ルダラウト云フ區域ハ餘ホド廣イモノデアルト云フコトヲ聞イテ居リマス、併シ是ハマデ出タモノデアリマセヌカラ私ヨリ確ニ斯ウデアルト云フコトハ申サレマセヌ、臺灣當局者ガ臺灣ノ將來ノ産業ノ發展上ニ付イテ油ノ事業ト云フモノハ大イニ有望デアルト云フコトヲ當局者ガ申シテ居ッタト云フコトヲ御參考ニ申上ゲテ置キマス

○委員長(子爵鍋島直彬君) 唯今、桑田君ヨリ質問ガゴザイマシテ、其御答ヘデ大概全國ノ油田ノ有様モ分リマシタガ、越後ノ方ト、石油ノ出ル御見込デマデ著手ヲシテ居ラヌ所モ幾ラモゴザイマセウガ、先ヅ御見込ノアル所ハ何レノ地方地方デゴザイマスカ、モウ一ツ委シク承リタイ

○説明員(伊木常誠君) 越後デ將來開ケテ行キマセウト思ヒマスノハ、今掘鑿ノ進歩ノ結果、今マデマデ振ハナイ小千谷地方モ深ク是カラ掘ッテ行ッタ大變發達シテ行カウ

ト考ヘテ居リマス、ト云フモノハ今マデハ詰リ百五六十間ノ程度ニ掘ッテ居リマシタケレドモ、此頃ハ五百間マデ行キマスカラ大變區域ガ殖エマス、現ニ東山地方デモ最初ハ百五六十間カラ二百間グラ非マデ油ヲ採ッテ居リマシタガ、此頃ハ一層下ッテ二百間乃至五百間近イ所デ油ヲ採ル、ソレカラ現ニ又西山ノ方デモサウ云フヤウナ例ガアル、ソレカラ尼瀨ガ一番石油ノ最初開ケタ地方デアリマスガ、ソレデ殆ド數代カ、テ居リマスガ此頃ハ深掘ノ結果、大變區域ヲ擴メテ今デハ大變發達シテ來テ居リマス、サウ云フ例ガアリマスノデ、モウ將來越後地方デ發達シヤウト云フノハ先刻申上ゲマシタ小千谷ノ地方、ソレカラ直江津ノ縣ニアリマス郷津地方、ソレカラ高田モ少シハ南ノ方ニ當ッテ居リマスル頸城地方ト云フモノハ、マデノ是ハモット開ケテ來ルト考ヘマス、ソレカラ越後ノ新津ハ今段々開ケテ來タデアリマス、越後ノ地方デハ舊來ノ油田ヲ深掘シテ將來マデ發達シテ行ク見込ガアリマス、又新開地モサウ云フヤウナ風ニ小千谷、頸城、ソレカラ直江津ノ近傍サウ云フノガアリマス、ソレカラ越後以外ノ土地デハ北海道ガ餘ホド有望ニ考ヘラレル、北海道ノ土地ト申シマシテモ殆ド石油ノ出テ居ル所ハ北ハ宗谷ノ地方カラ、南ハ膽振ノ勇拂郡マデ續イテ居リマス、其内最モ有望ナノガ石狩ノ望來地方、ソレカラ石狩ノ清真布ト云フ近傍ト膽振ノ勇拂郡ノ地方デアリマス、此地方デハマデ惜シイコトニハ例ノ手掘リガ僅カバカリアルト、ソレカラ一局部ニ南北石油會社ガ掘ッテ居ルノト前ノスタンダードノ會社ガ掘ッテ居リマスノデ是ハ或ハ失敗ニ終リ、或ハ出テ居ルモノモアリマスガ、要スルニ極ク一局部ノ小サイ所ニ何本モ掘ッテ居ルノデアリマス、又此區域ハ是ハ極ク大體ノ調ベ分ッテ居ルノデアリマスケレドモ、餘ホド面白サウナ有望ナ區域ガ他ニモアルヤウニ考ヘラレル、ソレカラソレハ北海道デ最モ有望ナ區域ハ望來、清真布、膽振ノ勇拂、ソレカラ天鹽地方ニモアリマスケレドモ、マデソレハ調ベガ十分ニ分リマセヌ、ドウ云フ模様デアルカ分リマセヌ、ソレカラ秋田ノ地方デゴザイマス、秋田市ノ近傍カラ南ハ島海山ノ麓マデ此地方モ昔手掘リヲヤッテ極ク淺イ井戸ヲ掘ッタギリデ、其儘打ッチャラカシテ居ルノデアルト、機械デ試掘ヲシタノハ僅カ一箇所カ二箇所ニ止マル、此地方モ大變ニ石油ノ兆候アッテ十分ニ試掘スル價直モアルシ、又有望ノ區域デアラウト思ヒマス、青森ノ地方モ現ニ今ヤッテ居リマスガ、是モ極ク一局部ニ試掘シテ居ルノデ全部ニ涉ッテ十分ニ研究シテ試掘ヲシテ居ルノデハナイヤウニ思ハレマス、此邊モ地質上ノ知識ヲ十分ニ得テ探險ヲシタラ開ケヤウト云フ考ヲ持ッテ居ル、日本デハ先ヅ北海道、北海道ハ事ニ依ッテ發展上、越後ヨリモ大キナ土地ニナリハセヌカト云フ考ヲ持ッテ居ル、北海道ト秋田、青森、ソレカラ越後ノ殘部ト云フモノ、先ヅソレラガ今ノ私ドモが見込付ケテ是カラ一ツ十分ナ調ベヲシヤウト云フ考ヲ持ッテ居ル所デゴザイマス、ソレカラ臺灣ハ是モ今マデノ色々ナ記錄ニ依ッテ調ベマシタ所ガ、苗栗地方、ソレカラ臺南ノ方ニ發達シサウナ區域ガアリマス、是ハ唯今マデ臺灣ヲ踏査シタ材料ニ依ッテ推量シテ居ルノデアリマス、兎ニ角最モ有望デアラウト思フノハ或ハ越後以上ニ發達シヤウト思フノハ北海道地方デアリマス

○男爵田健治郎君 今ノ何ニ付イテチヨット同ヒタウゴザイマスガ、私ノ承ッテ居ル所ニ依ルト北海道ニモ色々見ル、即チ技師家ノ見込トシテハ必ズ有望ニ相違ナイト云フ目ヲ付ケテ居ルニモ拘ラズ、今日マデハ一向不成績油ガ出ナイト云フヤウニ承ッテ

居ルノデアリマス、併シ又秋田アタリハ縣地方稅デ以テ調査ノ補助マデモシテ居ルニ拘ラズ今日マデ一向出ナイ所ガ多イ、青森ガ少シバカリ出テ居ル所ガアル、ト云フヤウニ承ッテ居リマスルガ、今日北海道ナリ或ハ秋田ナリ青森ナリ若クハ臺灣ナリ既ニ其原油トシテ凡ソドノ位井出ルト云フ所ガアルノデゴザイマセウカ、今日デハ唯有望ナリト云フ御見込デ御調査ニナッテ居ルダケデ、マダ出テ居ラヌデアリマセウカ、若シ出テ居ルトスレバ其大體ノ數字デモ御分リニナレバ承ッテ置キマスト……

○説明員(伊木常誠君) 先ツ北海道カラ申上ケマスガ、北海道デハ大分方々ノ石油會社デ掘ッテ、ソレガ不成功ニ終ッテ所モゴザイマスルケレドモ、モト石油ノ出マス所ハ大概、地質學上カラ此項ハ殆ド確説ト云ッテ宜イ位ニ或ル一定ノ地質構造ヲシテ居ル所ハ必ズ有ルノデゴザイマシテ、サウ云フ所ハ今チヨット例ヲ取ッテ申シマスルト望來デアリマスガ、望來ニハ幾場所カサウ云フ場所ガアルノデアリマスケレドモ、其試掘ヲシタ土地ト云フモノハ其内ノ極ク一局部ニ過ギナイノデアデ、唯其一局部デ試掘シテヤッテ居ルダケデ全部ニ涉ッテ廣ク試掘シテ居リマセウカ、マダ何トモソレダケノ試掘デアリカヌト云フヤウナコトハ、チヨット根據ガ無イヤウニ思ハレマスルノデゴザイマス、詰リモウ少シ廣ク涉ッテ十分ニヤッたらバ必ズ宜カラウト云フノデゴザイマス、ソレカラ北海道ニ唯今出テ居リマスル所ガ望來ノ地方デ出テ居ルノデゴザイマス、是ハ今チヨット何石出テ居ルト云フ數字ハ覺エマセウケレドモ、何デモ此手掘機械掘、合セテ數坑アリマシテ、一年ニ凡ソ千石カト覺エテ居リマスガ、其位井出テ居ル、ソレカラ北海道デハモウ一箇所膽振ノ地方デ少シ出テ居ル所ガアリマス、ソレカラ秋田ノ地方デハ、是モ試掘ハシマシタデスケレドモ、矢張り幾箇所モヤルベキ所ガアルノデ、唯其一箇所或ハ二箇所ニ止マッテ試掘ヲシテ居ルノデ、シカモ唯其中テ一本カ一本試掘ヲシテ居ルノデ、是モ十分ナ試掘ヲシテ居ルト云フコトハ出來ナイ、秋田デハ今出テ居ルノハ秋田市ノ脇ニ二本バカリ出テ居ル所ガアッ、ソコデ僅ニ二何斗ト云フ位ノ量ヲ汲ンデ居ルダケデアリマス

○男爵松平正直君 チヨット御尋ネシタイガ、此參考書ノ中ニ之ヲ掛合セテ見ルト分ルカ知ラヌガ、日本全國ノ石油ノ需要高……消費高ト云フモノハ十箇年平均シテ年々ドレダケツ増進シテ行クカ、或ハ大抵程度ガ止マッテ居ルカ、サウ云フ統計ハ出テ居ナイヤウデスガ、御分リニナッテ居ルナラバ、サウ云フ統計ヲチヨット見タイモノデアリマス、輸入ダケハ分ッテ居ルガ、輸入以外ニ全國ノ需要高ガドノ位ノモノデアリマスルカ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 御手許ニ合セタモノガ差上ゲテアルト存ジマスガ、燈油產額輸入額價格其他對照表ト云フモノガ……終ヒノ方カラ六七枚目デゴザイマス、此表デ新潟縣ト外國燈油トノ計ガ出テ居リマス、併シ其中ニ僅デアリマスガ、外國へ輸出シタノモ多少アリマスガ、ソレハ今日デハ申上ケル程ノ額デアリマセウカ、雙方合セタモノヲ御覽ニナッテ、是ガ内地ノ消費高ト御覽クダスデ宜シカラウト思ヒマス

○桑田熊藏君 豫メ承ッテ置キタイコトハ、此衆議院ノ修正ニ對シテ政府ノ御意見ハ如何デアルカ、詰リ率ガ廉クナル、ソレカラ又乙、丙、丁……ト云フコトガアリマスガ、此二項ノ衆議院ノ修正ニ關スル政府ノ御意見ヲ承リタイ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 衆議院ノ本案ニ對シマスル修正ニ對シテハ、政府ノ意見ト云フモノハ……政府ハ同意ヲ表シマセヌノデゴザイマス、原案ヲ維持シタウゴザイマ

ス、サウ申上ゲタノミデハ餘リ簡單デゴザイマスカラ、勢ヒ此細カイ稅率ヲ決メタ標準ノ事ヲ申上ゲマシテ、衆議院ノ修正ト政府ノ原案ト、ドウ違フカト云フコトヲ説明ヲ申上ゲルノガ便利デアラウト思ヒマス、先ツ原案ニ付イデ申上ゲマス、原案ト致シマシテハ、外國產ノ原油……昨年輸入イタシマシタ所ノ亞米利加ノ原油、ソレカラボルネア方面カラ持ッテ參リマシタ所ノ原油、ソレ等ヲ總テ蒸餾ヲ致シテ試驗ヲ致シテ見マシタ、數回繰返シ試驗ヲ致シテ見マシテ、其試驗ノ結果ニ依リマスルト、原油ハ御承知ノ通り餘ホド技術上取扱ノムツカシイモノデアリマシテ、又品質ノ非常ニ違タモノガ色アリマス、亞米利加ナドノ原油ト申シマシタ所ガ、數百種アルト云ッテモ宜シイノデゴザイマス、先ツ見本トシテ取リマシタノハ相當ナルモノヲ撰拔イバシマシテ、ソレヲ割温蒸餾法ニ依ッテ蒸餾イタシマシタ、割温蒸餾法ノ詳シイコトハ、尙ホ技師カラ説明サレマセウカ、是ハモウ石油業者ガ製造ニ始終ヤッテ居ルコトデアリマシテ、石油業ノコトヲ知ッテ居ル人ハ皆能ク了解シテ居ルノデアリマス、即チ溫度ヲ區劃シマシテ、先ツ以テ低イ溫度カラ、百度ナラ百度マデ度ヲ決メテ、ソレヨリ以上ニハ溫度ヲ上ゲスシテ蒸餾シマス、ソレデ一定ノ蒸餾液ガ出マシテ、溫度ヲ百度ニ保ッテ置ケバ、最早何時間蒸餾シマシテモ、百度ノ溫度ヲ動かサズニ置キマス、モウ蒸餾シマセヌ、ソコデ一ツ分界ヲ切ル、又今度ハ二百二十度ニ溫度ヲ切ル、其間ニ漸々出ル油ヲ取ル、サウ云フ風ニ段々其溫度ヲ上ゲテ參ッテ、蒸餾シテ油ヲ取ッテ試驗ニ供シマシタ、其試驗ハ數回繰返シマシテ、茲ニ二百二十度ヨリ二百七十五度ノ間ニ於テ出ル所ノ蒸餾ノ液ガ原油ノドノ位アルカト云フコトヲ先ツ見タノデアリマス、デ百二十度カラ二百七十五度ト云フ間隔ヲ決メマシタノハ、此間ニ蒸餾シテ出マスガ、ソレハ揮發油、普通石油トシテ使ヒマセヌ油デアリマス、又二百七十五度以上ノ高イ溫度デ蒸餾シマスル油モゴザイマス、併シソレハ謂ハユル重油デ、是亦「ランブ」油トシテ使ヒマスルニハ適當シマセヌ油デアリマス、即チ此百二十度カラ二百七十五度ノ間ニ蒸餾シテ出タ油ガ、即チ普通「ランブ」油トシテ使フ油ニナルノデアリマス、茲ニ其溫度ヲ決メタノデアリマス、外國ノ例ナドヲ聞キマス、二百二十度ト申シマセヌデ、百五十度トカ其他色モゴザイマス、ゴザイマスガ、又二百七十五度モ二百八十度ニ達スルモノモアリマスレバ、又ハ二百七十五度ニ達シマセヌ二百五十、二百六十ト云フノモアルヤウデアリマス、ソレハ區々ニナッテ居リマスルガ、先ツ今日、日本デ普通「ランブ」油トシテドシナ油ヲ使ッテ居ルカト云フコトカラ考ヘマシテ、サウ云フ油ヲ餾出スル溫度ハドノ位ノ適度デアルカト云フコトヲ研究イタシマシテ、茲ニ二百二十度ト云フ程度ヲ置キマシタ、ソレデ其度ヲ決メマシテ數回試驗ヲ繰延シテ見タノデアリマス、其試驗ノ成績モ茲ニ御覽ニ入レルコトガ出來マスガ、其試驗ノ成績ニ依リマス、百分中三十七半出マスノデゴザイマス、原液ノ容量百ノ中カラ三十七ハト云フ……

(男爵田健治郎君「ソレハ何所ノ原油デス」ト述フ)

ソレハ第一回ニ輸入シマシタ亞米利加ノカリフォルニアノ原油デス、百ノ中三十七半ノ蒸餾液ガ出來マス、然ラバナゼ茲ニ四十度ト云フモノヲ程度ニ、百分中四十ト云フモノヲ以テ四十三錢ト決メタカト云フ御疑ヒガ早速起ラウカト思ヒマス、百分中三十七半ト云フモノハ幾ラトシタラ宜カラウト云フ疑ヒガ直グニ起ラウト思ヒマス、ソレハ今日其越後

ノ地方ニ於キマシテ、近ク原油ヲ輸入ヲ致シマシテ石油業ヲヤテ居リマス、南北石油會社ノ製造ノヤリ方ヲ見マシテモ、實際ニ於テハ餘ホド多クノモノヲ投入シテ居ル、ソレハドウ云フモノヲ入レルカト申シマスルト極ク低イ溫度カラ漸々蒸餾シテ參リマシテ割温蒸餾法ニ依リマシテ蒸餾シテ百二十マデニ……百分中十一餘ノ油ガ出マス、テ或ル製造業者ハ其謂ハユル揮發油ト申ス部類ノ油ヲ三十七半出マス油ノ中ニ幾分混ゼテモト重イ所ノ油モソレニ加ヘマシテ、サウシテソレヲ普通「ランブ」油トシテソレヲ賣出シテ居ル、其ヤリ方ニ依リマス、昨午南北會社輸入シマシテ原油ノ如キモノヲ用ビテ、サウ云フヤリ方デアリマス、百分中五十クラ井マデ燈油ニシテ仕舞フデアリマス、是ハ色ニ製造業者ノヤリ方ガ違ヒマスカラ、必ズ百分中、ドコモドコモ五十ヲ取テ居ルハ申サレマセヌ、色ニ度合ガ違テ居リマス、ソコデス、技術上カラ申シマスレバ百二十度カラ二百七十度ノ間ニ蒸餾スル所ノ液ハ三十七半、或ハ三十八ト云フモノデアルケレドモ、實際ニ於キマシテハ共同原油カラ五十クラ井マデ「ランブ」油ヲ製造シテ、ソレガ市場ニ賣レテ居ルデアリマス、其實際ノ石油業者ノヤリ方モ一稅率ヲ以テ定ムル上ニ於テハ大ニ參考ニ供サナケレバナラヌモノデアリマス、五十テ止メルモノモアリマスレバ、四十五テ止メルモノモアリマス、四十テ止メルノデアリマシテ、先ヅ三十七八カラ五十クラ井マデ……普通ハ五十クラ井マデ出シテ居リマスカラ、詰リ實際ノ日本デノ石油業者ノヤリ方ヲ見マシテ程度ハ凡ソ四十五クラ井ニ決メテ稅率ヲ定メテ方ガ宜シカラウ、斯ウ云フコトデ四十五ト云フコトニ定メテデアリマス、ソレ故ニ九十六錢三分ノ四十五ヲ乘ケマスルト四十三錢、斯ウ云フ稅率ガ出テ參リマス、ソレガ又原油ニ依リマシテハ、原油ノ性質ニ依リマシテハ百分中七十モ八十モ取レル原油モアルデアリマス、現ニ新潟縣ノ或地方ノ原油ノ如キハ百分中八十クラ井モ、八十以上ノ燈油ヲ含シテ居ルモノモアリマス、外國ニモ「ホノルル」如キ、亞米利加ノ「ベンシルヴァニア」方面ノ油ハ、澤山燈油ヲ含シテ居リマス、斯ウ云フ油ガ日本ニ這入リマスレバ、四十五ヨリ以上ハ「ランブ」油ハ取レヌト云フコトニナルト、權衡ガ保タレヌカラ四十五以上一ヲ増ス毎ニ一錢ヲ加フ、即チ一錢ト致シマシタノハ、石油ノ方ガ十「ガロン」九十六錢トアリマスカラ正確ニ申シマシラバ九厘六毛、一ヲ増ス毎ニ九厘六毛ヲ増スト云フノガ正確ノ計算デゴザイマスガ、ソレヲサウシマセヌデ、便宜上十「ガロン」増ス毎ニ一錢ヲ加フル、サウ云フモノニハ高イ稅ヲ課セル、サウ云フ計算ニ致シマシタ、ソコデソレハ四十五クラ井ヲ含有シテ居リマス原油ニ付イテノ稅率デアリマス、茲ニ二段ニ分ケマシテ百分中二十ヲ超エナイモノハ十九錢、廉イ稅率ヲ茲ニ定メマシタ、是ハ燈油分ノ極少イ原油デアリマス、斯ウ云フ燈油分ノ少イモノヲ輸入イタシマシテ「ランブ」油ヲ製造スルト云フコトニ使ヒマスルハ不利益ナ話デアリマスカラ、燈油分ヲ四十五含シタモノモ、二十含シタモノモ、一率ニスルト云フコトハ權衡ヲ得ナイカラ、燈油分ノ少イモノハ割合ニ低クシタラ宜カラウ、サウシタラ此原料ヲ輸入スル人ニハ比較的廉イ稅ヲ課セルト云フ便宜ガアルカラ二十ト云フコトニ決メマシタ、原案ニ依リマス、百分中二十カラ四十五マデノモノハ一率二十「ガロン」ニ付イテ四十三錢ヲ課セルト云フコトニナリマス、此點ガ衆議院ニ於テ修正ノ出マシタ重モナル理由ノヤウニ承知シテ居リマス、即チ百分中二十カラ百分中四十五マデヲ一率ニ四十三錢ト云フモノヲ課セルト云フコトハ不相當アル、假ニ此中間ノモノヲ二十、三十、四十ト云

フヤウナモノガ出來タ場合ニ同ク四十三錢取レルヤウニスルノハ不權衡デアリマスカラ、段階ヲ數階ニ切リマシテ修正ガ出來マシタノデアリマス、ソレトモウ一ツ衆議院ノ修正ト致シマシテハ、先刻私ガ説明ヲ申上ゲマシタ通り、割温蒸餾法ニ依テ攝氏百二十度ヨリ二百七十五度ニ至ル間ニ於テ原油ヲ蒸餾シテ見レバ、實際出ル油ハ百分中三十七半デアル、ソレヲ實際ノ營業者ハ百分中五十モ取ルカラ、ソレヲ斟酌シテ百分中四十五ト云フコトニ程度ヲ決メルノハ、ソレハ酷デアル、又政府ノ原案ニ依ルト生産費用即チ製造工費ト云フモノヲ見テ居ラヌ、原油ヲ持テ來レバソレヲ直グニ製造工費ヲ加ヘズシテ燈油ノ製造ガ出來ルカト云フサウデナイ、工場ヲ備ヘテ燃料ヲ焚イテ始メテ石油ガ出來ルカラ、原料ノ中ニ假ニ四十五含シテ居ルモノトスレバ、其四十五ヲ取ルニハ工費ガ掛カルカラ工費ヲ見込シテ居ラヌノハ不相當デアル、ソレハ宜シク政府ガ工費ヲ見込ガ宜イト云フ趣意ヲ以チマシテ、率ヲ原案ヨリ低ク致シマシテ段階ヲ多ク致シマシタ、段階ヲ多ク致シマシタ理由ハ先刻申上ゲマスヤウナコトデ、成ルベク含有分ノ多少ニ應ジテ稅率ノ鈞合ヲ取ルガ相當デアル、斯ウ云フ一ツノ理由カラ衆議院ハ修正イタシタノデアリマス、ソレニ對シテ政府ト致シテハ原案ヲ相當ト考ヘテ居ルト云フコトヲ説明ヲ致シテ居ルデアリマスガ、其重モナル原案ヲ維持シマシタトキノ理由トシマシテハ、分界ヲ多ク分ケルト云フコトハ成ルホド理窟ノアルコト思フ、決シテ其道理ノ無イコトハ思ヒマセヌ、正確ニ油ノ分量ニ比例シテ稅率ヲ定メルト云フコトハ一理アルコト思ヒマスガ、餘リ分界ヲ細カク致シマスト從量稅ノ便宜ナル點ヲ失ッテ仕舞ヒマス、際ドイ細カイ分界ヲ致シマス、課稅處分ヲ致シマストキニ誠ニ細カイ些細ナ點ニ就イテ稅率ガ低イ方ニ行クカ高イ方ニ行クカ、斯ウ云フ紛議ガ起リ易イ、サウ云フ分界ヲ多クスレバスルホド紛議ガ起リ易イ、原案ニ致シマシテモ四十五ト境目ヲ決メテ置キマシタ以上ハ、イヤハハ四十五以下デアル、以上デアル、斯ウ云フ紛議ハ起ラヌトハ限リマセヌケレドモ、分界ヲ澤山、階段ヲ澤山多ク致シマス、其紛議ガ益々多クナルコトヲ恐レマス、ソレカラ又分界ヲ假ニ多クスレバ、比例ガ能ク取レテ大層宜イヤウニ見エマスケレドモ、實際ニ於テハ先刻モ説明ヲ申上ゲマス通り百分中假リ四十五ト云フモノヲ分界ニ定メテ置キマス、此邊ノ原油ガ亞米利加ノ原油ト致シテ燈油ヲ製造スルニ一番適當シテ居ル原油デゴザイマス、ソレデ百分中四十五含シテ居ルモノヲ十「ガロン」ノ稅金ガ四十三錢ト致シテ置キマスレバ、營業者ハ必ズ之ニ接近シタモノヲ持テ來ル、誰モ百分中二十含有シテ居ルモノヲ以テ參リマシテ四十五ノ稅金ヲ拂フヤウナ愚カナコトハシナイ、四十五ニキチリ嵌マルモノヲ持テ來ル、サウ云フコトヲ營業者ハ致シマス、ソレ故ニ三十五年トカ四十トカ云フ分界ヲ設ケマシテ紛擾ヲ多クスルヨリモ、原案ノ如クニシテ、サウエライ不權衡ナコトハナイ、併シ餘リ非常ナ差ノアル、例ヘバ百分中二十ヲ超エサルモノ、是ハ燈油ヲ製造スル原料ニ向カナイモノデ重油ノ製造原料ニ向クモノデアル、斯ウ云フモノマデ一糶ニスルコトハ出來ナイ、斯ウ云フ趣意カラ茲ニ一ツノ階段ヲ立テタノデアリマス、段階ハ簡單ナル方ガ宜シイト云フ理由ハ唯今申上ゲタヤウナ理由デアリマス、又衆議院ハ修正ニ依リマス、先刻申上ゲマスヤウニ製造工費ヲ見込ミマシテ石油稅率九十六錢ヨリ凡ソ一割五分ヲ減シタ程度ノモノヲ以テ算出シテ居リマス、其算出方法ニ依リマシテ將來原油ノ輸入稅ト云フモノハドウナルカト云フコトヲ計算シテ見マスルト餘ホド原案ニ比

ベテ低クナリマス、其結果ハ先刻説明ヲ申上ゲマシヤウニ原案トシテハ内國ノ原油ト、外國カラ來マス所ノ原油トノ直段ヲ略、對等ノ位置ニ置カウト云フ趣意ガ第一破レマス、即チ外國ノ原油ガ餘リ廉クナリ過ギル、斯ウ云フコトニナリマス、其結果ハ内外ノ鈞合ガ取レナイ、ツレトモウ一ツハ衆議院ノ修正ノ如ク致スト、關稅ノ收入ニ影響ヲ來タス、此二點ガアリマス爲ニ政府ト致シマシテ成ルベク原案ノ通り致シテ置キタイ、斯ウ云フコトヲ主張イタシテ居ル次第デアリマス、併シ政府ノ原案ト致シマシテモ我々ノ研究ノ足ラナイ所ガアルカモ知レマセヌデ、尙ホ十分ニ御研究ヲ願ヒマシテ、我々ノ調査ノ不完全ナル、道理ニ合ハナイ點ガ發見サレマシテ原案ノ通りデヤルコトハ相當デナイト云フコトが明瞭イタシマシタトキニ於テハ、政府ト致シマシテハ必シモ絶對ニ原案ヲ主張スルト云フ考デハゴザイマセヌ、適當ナル修正、道理ニ合ヒマシタ所ノ修正ニ歸著イタスコトデ、決シテ私ドモハ徒ラニ原案ヲ主張スルト云フ考ヲ持ッテ居リマセヌ、左様御承知ヲ願ッテ置キマス

○男爵田健治郎君　モウ正午ニナツタヤウデアリマスケレドモ、今ノ御説明ニ付イテ關聯シテ居ルコトデアリマスカラ御尋ネシタウゴザイマス、今ノ御説明ノ中ニ内地ノ製油家が此百二十度ヨリ低い即チ揮發油ニ當ルモノヲ矢張り燈油ニ混ゼ居ル、又二百七十五度ヨリ高い、即チ重油ニ這入ルベキモノモ矢張り燈油ニ混ゼテ蒸餾シテ居ルト云フ御説明デゴザイマシタガ、ソレハドノ位マデヤツテ居ルト云フコトハ略々御分リニナリマセウカ、例ヘテ見マスト、百二十度以下ト云フノハ百度以上ヲ入レヤウ、百十度以上ヲ加ヘヤウトカ若クハ九十度マデ加ヘヤウトカ、揮發油分ヲ度トシテ、ドノ位并加ヘルカ、又上ノ方デ二百七十五度ヨリ高い所ノモノ即チ重油ノ分子ノ度トシテ三百マデ加ヘルト云フノハドノ位マデ加ヘテ居ル事實デアルカ、云フコトヲ承リタイ、是ガ一ツデアリマス、ソレカラモウ一ツハ此蒸餾ノ率ガ御分リニナルガラウト思ヒマスル、是ハ固ヨリ原油ノ種類ニ依ツテ重イ油モアリ輕イ油モアルノデアリマスルカラ、色々アリマセウケレドモ、大藏省デ亞米利加ノ油等ヲ十分ニ御検査ニナツタト云フコトデアリマスレバ、其成績デモ宜イノデアリマスルガ、詰リ言フト十度毎デ宜ウゴザイマス、百度以下デダケノモノガ取レル、百十度デハドダケノモノガ取レル、百二十度デハドダケノモノガ取レル、百二十度デハドダケノモノガ取レル、百三十度デハドダケノモノガ取レル、百四十度デハドダケノモノガ取レル、百五十度デハドダケノモノガ取レル、百六十度デハドダケノモノガ取レル、百七十度デハドダケノモノガ取レル、百八十度デハドダケノモノガ取レル、百九十度デハドダケノモノガ取レル、百十度毎ニ付イテノ謂ハユル「パーセンテージ」百分ノ幾ラト云フモノヲ十度毎ニ溜シテ來テドウ云フ工合ニ出來ルト云フ蒸餾ノ率ノ百分比例ヲ各度各次十度毎グラ并デ御分リニナレバソレヲ承リタイ、是ハ若シ表デモアルナラバ表デ承ツタ方が言葉デノ御説明ハ餘程ムツカシカラウト思ヒマスル、書類デモ拜見シタイノデアリマス、ソレカラモウ一ツハ此發火點……發火點ト申シマスルカ引火點ト申シマスルカ、此原案ノ「割蒸餾法」ニ依リ攝氏百二十度ヨリ百七十五度ニ至ル間ニ於テ蒸餾スル「ト云フコトニナツテ居リマスルカラ、此百二十度ヨリ二百七十五度ニ至ルモノノ間ニ於テ蒸餾セラレタ所ノ發火點ト云フモノハ、攝氏ニシテモ若クハ華氏ニシテモ、ドダケノ溫度ニ達スレバ火ガ付クモノデアルト云フコトノ御分リガ……是ハ技術上ノコトニ寧ろ屬シマスルケレドモ承リタイノデアリマス、ソレデ詰リソレハ第一ニ原油ニ付イテハサウデアリマスルシ、ソレカラ此「其ノ他」ト云フ中ノ「中」ハ無論揮發油デアリマスルカラ「七二〇」ヲ超エサルモノ「トアル、是ハ揮發油デアルト云フコトデゴザイマスル、」乙「ハ「八七五」ヲ超エサルモノ」即チ七二〇以上八

七五ノ間ノモノデアラウト思ヒマスル、即チ燈油デアル、此物ガ果シテ是ノ發火點即チ普通輸入スル所ノ燈油ノ發火點ト云フモノガ何度デ發火點ニナルモノカ、而シテ此發火點ト此百二十度テ取ツタ所ノ發火點トハドウ云フ工合ノモノニナツテ居ルカ、詰リ此原油ノ方ノ發火點ト燈油トシテ輸入スル所ノ發火點トノ御調ベヲ伺ヒタイ、此三點ヲ……

○政府委員（櫻井鐵太郎君） 唯今ノ御尋ネハ大藏省ノ技師ガ參ッテ居リマスカラ技師ヨリ御答ヘ申上ゲマス

師ヨリ御答へ申上ゲマス

○説明員(矢部規矩治君) 内地ノ石油業者ガドノ位ノ程度ニ混ゼルヤ否ヤト云フ御問ヒニ對シマシテ、ソレモ其製品ノ比重ヲ基并トシテ上下ノモノニ混ゼテ居リマスカラシテ正確ニ申上ゲルコトハ出來マセヌガ、大體ノ御話ヲシマスルト云フト、上ノ物ニモ下ノ物ニモ混ゼテ居リマス、ソレデ假ニ一番明瞭デ委シカラウト思フ一例ヲ舉ゲテ申シマスト云フト、南北石油會社ノ例ヲ舉ゲテ申スト、南北石油會社ニ於キマシテハ百二十度以下ニ於テ出マスルモノハ全部混ゼテ居リマス、ソレハ會社ガ責任ヲ以テ我々ニ出シタ書面ノ中ニゴザイマス、ソレカラシマシテ重油ノ方ハドノ位マデ混ゼルカト云フト、是ハ製品ノ比重ヲ土臺ニシテ混ゼテ居リマスルカラシテ、ドノ位ノ割合ガ出ルカト云フコトハ申上ゲ難イノデアリマスガ、甚シイノニナリマスルト云フト、比重ノ重イ油ニ揮發油ヲ混ゼテ丁度石油ニナル程度ノ比重ノモノヲ出スト云フ工合ニ混ゼテ居リマスカラ、各種ノ油ニ依ッテ違ヒマスルモノデアリマシテ、一概ニ申上ゲルコトハ出來ナイ、ソレデ二百七十五度以上ニ於テ出マスルモノハ無論混ゼテ居リマス、ソレガ出來ル製品ヲ比重ガ丁度適度ニナルマデニ兩方カラ混ゼテ來ルカラシテ分量ニ付イテハ申上ゲルコトハ出來マセヌ、ソレカラシマシテ……

○男爵田健治郎君 サウスルト下ヲ混ゼルト上ヲ餘計混ゼナケレバ比重が取レヌ、併シ是ハ南北石油デモ越後デモ殆ド無限ニ混ゼテ居ルト云フ事實ガアリマスカ

○説明員(矢部規矩治君) 左様デゴザイマス、南北石油ノ出シタ書面ニハ全部混ゼテ居リマス

○委員長(子簀鋸島直林君) モウ田君ノ御質問ハツレテ宜シウゴザイマスカ
○男爵田健治郎君 ツレカラ其點ハ宜シウゴザイマスガ、其次ノ點……
○説明員(矢部現臣治君) ツレカラハ點ニ付キマシテハ、聊カイ調査ハゴザイマセヌ

が、農商務省ノ清水技師ハ石油ノコトガ精シイ方デゴザイマスカラ、相談ノ上デ書類ヲ出シテモ宜シウゴザイマス

○男爵田健治郎君
アトデモ宜シウゴザイマスが、詰リ引火點、ソレカラ唯今申シタ蒸餾ノ率……

○説明員(矢部規矩治君) 蒸餾ノ率ニ付キマシテハ色ニゴザイマスガ、玆デ御答ガ出
來マスル……ソレデハ後ニ是モ一ト纏メニシテ……

ニ致シマス、諸君ニ御諮り申シマスガ、會期モ最早切迫シテ僅カノ日數シカ餘テ居リマ
ス。強イタシテ歩取リノ早イ方ガ宜イト思ヒマスル、參考書ナドヲ御回シニナ
ルベク、

リマスルトカ云フコトデアリマスカラ、明日一日置イテ明後日ニ致シマセウカ、引續キ明日開キマセウカ、諸君ノ御多數ノ御意見ニ依シテ……

○男爵松平正直君 明日ハ委員會が私ドモニアリマス
○男爵紀俊秀君 明後日ノ方ガ有難イ
○委員長(子爵鍋島直彬君) ソレデハ明後日、二十日ノ午前十時カラ開クト云フコ
トニ致シマス、散會

午後零時十九分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵鍋島 直彬君

委員

子爵三島彌太郎君 子爵水野

直君

男爵松平 正直君

男爵田 健治郎君

男爵紀

俊秀君

桑田 熊藏君

政府委員

大藏省主税局長 櫻井鐵太郎君

説明員

大藏省技師 矢部規矩治君

大藏省技師 早川 繁雄君

大藏省技師 阪口武之助君

大藏省技師 野中 清君

農商務省技師 伊木 常誠君

農商務省技師 清水 省吾君

明治四十一年三月十八日印刷

明治四十一年三月十九日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局